

学年・教科・担当者	1 年 技術・家庭 家庭分野	堀 奈央
-----------	----------------	------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	ガイダンス 1. 自分の成長と家族・家庭生活 ・中学生としての自立 ・わたしの生活と家族・家庭	○家庭分野の3年間の学習の見通しを知自立した生活者を目指す。 ○家族・家庭の基本的な機能を知り、自分と家族のかかわりについて考える。 ○家族を支える社会の様々な仕組み気付き、ワーク・ライフ・バランスについて考えことができる。
	5	健康な食生活① ・食事の役割 ・健康に良い食習慣	○食事の役割について理解することができる。 ○健康に良い食習慣について考えることができる。
	6	・栄養素の種類と働きと6つの基礎食品群 ・中学生に必要な栄養	○栄養素の種類と働きがわかる。 ○身近な食品を6つの食品群に分類することができる。 ○中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。
2	7	日常食の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理 ・地域の食文化	○安全と衛生に気をつけて日常食を家庭でも調理することができる。 ○食品の調理上の性質を知り、適切に家庭でも調理することができる。 ○地域の食文化について理解できる。
	9	健康な衣生活① ・衣服のはたらき ・目的に応じた着用 ・個性を生かす服装 ・洋服と和服	○衣服のはたらきを知り、健康で自分らしく着るためには、どうしたらよいかを考えることができる。 ○T.P.O.を踏まえながら、個性をいかした着方を工夫することができる。
	10	生活を豊かにするために ・布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	○洋服と和風の構成の違いを理解し、和服の文化を受け継ぐ大切さに気づくことができる。 ○布を使った製作物（ファイルカバー）で基礎縫いを学習しながら、工夫し計画を立てて作ることができる。
3	1	安全でやさしい住まい ・住まいのはたらき	○住まいのはたらきと家族との関わりについて理解する。
	2	・日本の住まいと住まい方 安全な住まいと安心な暮らし	○日本の住まいと住まい方の特徴をあげることができる。
	3	・家庭内事故への備え ・災害への備え	○住まいの中の危険な場所について家庭内事故防止の対策を考えることができる。 ○安全な住まい方と災害への備えを考えることができる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード
②思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。 実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード、授業中の活動・発言
③主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。 改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート、授業中の態度、実習記録カード

